

## ■目次

### ■平成26年第4回定例会【12月】

- 議案質疑のあらまし ……………P2～3
- 一般質問 ……………P4～8

### ■委員会報告

- 所管の事務を調査 ……………P9～10
- 行政視察を実施 ……………P11

### ■議会だよりギャラリー……………P12



## 会津大会 初優勝おめでとう！



2月7日(土)から8日(日)に福島県小学生バレーボール新人大会(5年生以下)の会津大会が開催され、下郷ジュニアバレーボールクラブが優勝しました。下郷町の小学生バレーボールチームが、会津で優勝するのは初めての快挙で、3月1日(日)に開催された福島県大会では、見事にベスト8進出を果たしました。

# 12月定例会

12月15日から19日にかけて、12月定例会が開かれました。専決処分の承認のほか、条例改正や各会計の補正予算について審議し、全ての議案を可決しました。  
一般質問には5名の議員が登壇し、町の考えをいただきました。



## 提出された議案

- 【町提出議案】
- ▼専決処分（一般会計補正予算）
- ▼職員の給与に関する条例の一部改正
- ▼下郷町国民健康保険条例の一部改正
- ▼一般会計補正予算
- ▼国民健康保険特別会計補正予算
- ▼介護保険特別会計補正予算
- ▼簡易水道事業特別会計補正予算
- ▼農業集落排水事業特別会計補正予算
- 【議員提出議案】
- ▼労働者保護ルールの改悪反対を求める意見書の提出

## トマト選果場の機能向上とは

**問** JA会津みなみにおける南郷トマト選果場の機能向上対策事業で303万1千円が補正計上されているが、総事業費に対して下郷町の負担割合はどれくらいなのか。

**答** 今回の機能向上とは、ラインを増設するものなのか。それとも古くなったために全面的に更新するものなのか。また、南会津郡内及び下郷町の生産者数、作付面積はどれくらいなのか。

**答** 南郷トマト選果場の機能向上対策事業は、既存の施設も利用しながら新しい選果台を設け、また新たに高度化したセンサーを導入する事業内容となっており、総事業費は2億1千万円となっている。負担割合は、国庫補助が

## 一般会計補正予算の質疑

総事業費の2分の1となっており、4分の1を事業者となるJA会津みなみが負担し、残りの4分の1となる5250万円を南会津町、只見町、下郷町の3町で負担補助する内容となっている。3町の負担割合は、均等割10%、面積割45%、戸数割45%で算出されており、その結果、本町の負担割合は303万1千円となり、補正計上するものである。

また、南会津郡全体の南郷トマト生産農家は122戸あり、作付面積は34.11ヘクタールとなっている。そのうち、下郷町が生産者は4戸で、作付面積は0.73ヘクタールとなっている

## 除雪の委託料増額の根拠は

**問** 除雪の委託料723万6千円が増額されているが、その根拠は何か。また、除雪機械一台を委託する場合の単価はいくらで、今回、一台当たりいくら増額になるのか。

**答** 除雪の委託料は、昨年度の単価で算定し、当初予算に計上しているが、人件費が大幅にアップしたことにより機械一台当たりの委託単価がアップしたのが要因である。



大雪時の除雪状況

除雪機械一台当たりの単価については、町の機械を貸し付ける場合、13トン級で平成25年度が1時間当たり1万2千円に対し、平成26年度が1万4千円になり2千円の増額となった。また、民間機械の借上げの場合、9トン級で1時間当たり2万2千円が2万5千円となり3千円増額となっている。除雪機械は、9トン級から13トン級まで5種類くらいあるが、全体で18%の単価がアップしたため、当初予算額4200万円に18%を乗じた723万6千円を補正するものである。

## 大松川音金線の通行はいつから可能に

**問** 災害復旧費に計上の大松川音金線はいつ施工され、小坂橋付近はいつ通行が可能になるのか。

**答** これからの発注となり、5〜6か月の予定だが、冬期間となること

## 交通対策費の補正の理由は

**問** 交通対策費として地方路線バス運行委託料が267万9千円増額されているが、なぜ増額になったのか。

**答** また、野岩鉄道特別負担金は229万8千円減額されているが、減額になった



大松川音金線(小坂橋付近)の被災状況

から、若干延びる可能性もある。ただ、一定の工事に目処がつけば、片側通行の対応を行い、住民生活に支障を来さないような方向で検討する。

**答** 理由は何か。地方路線バス運行委託料については、会津バスとの運行委託契約になっているが、契約の相手方である会津バスは、10月1日から9月30日が運行年度となっており、この時期に精算されることとなる。その精算の結果、当初予算から267万9千円の不足が生じたため補正計上するものである。

また、野岩鉄道特別負担金については、今年度に列車集中自動制御装置、CTCを行うことになっている



路線バスを利用する中学生

## 議員提出議案

労働者保護ルールの改悪反対を求める意見書を提出

日本労働組合総連合会福島連合会南会津地区連合会（議長 渡部訓正）から提出された「労働者保護ルールの改悪反対を求める意見書提出の陳情」について、産業厚生常任委員会に付託し、採択されました。これを受け、内閣総理大臣などに意見書を提出することを議決しました。



## ここを問う

### 佐藤盛雄議員の一般質問

町政

**質問** 観光拠点整備のための調査を予算化する考えは

**答弁** 湯野上温泉地域における振興対策の基本計画を策定する

**問** 既存の観光地のグレイドアップと新たな観光拠点の整備が必要と考えられるが、調査等を含めて予算措置する考えはあるのか。

**答** 計画策定、調査を実施する。また、ふくしまDCを契機に、観光素材の磨き上げや発掘に取り組んでいく。情報発信はもちろん、観音沼から日暮滝、大峠や三倉山へのアクセスとなる林道大峠線を終点まで整

備することで、シーズンを通しての誘客効果が考えられ、広域的な那須登山ルートを構築することも可能になる。また、湯野上温泉の夫婦岩も貴重な観光資源と考えており、地域住民や観光関係者と合意形成を図りながら検討すべきと考えている。

**質問** 安全、安心のためにも防犯カメラの設置を

**答弁** 調査をすべきと考えている

ラの設置は必要と考える。特に学校、保育所といった弱者を救済・保護する意味でも必要であり、プライバシーについては、情報を一元管理し漏らさないようにすれば守れることであり、来年度に県内の何力所かの町村でも取り組みをする話もある。学校や保育所の保護者に必要性あるかどうかの調査や、設置場所の調査など、その程度の調査は予算を確保すべきと思われるかどうか。

**答** 防犯カメラの設置については、調査をすべきと考えている。

**答弁** 原則農地は避けて確保している

**質問** 除雪時の排雪場所確保状況は

**問** 除雪時の排雪場所の確保について、平成26年3月の一般質問でシーズン前には、行政区長及び地権者と協議を重ね、場所を特定して排雪すると回答しているが、その後の状況はどうか。

**答** 原則的には農地を避けて確保しているが、一部利用させていただく場合は、春先の農作業に支障を来さないよう配慮して考えている。

**問** 平成26年3月議会の一般質問で、防犯カメラの設置については、今後の町民の安全、安心を担保するために、公共施設等に必要かどうかを検討すると答弁したが、来年度予算に計上する考えはあるのか

**答** 防犯カメラは、近年犯罪被害の未然防止や犯罪者の検挙に役立ち、犯罪防止において有効な手段と考えている。その反面、個人情報やプライバシーの侵害等も考慮しなければならぬので、さらなる検討をしていくこととする。



▲固定式監視カメラ

◀全方位式監視カメラ

**質問** 町道南倉沢野際線の拡幅調査予算化をすべきでは

**答弁** 交通量を勘案し予算化し調査する

**問** 町道南倉沢野際線における国道289号から野際線までの区間が狭すぎるため、観光バスが1回で

曲がりきれなかったり、対向車とすれ違いができないなど、特に紅葉時期には支障を来していた。

**答** 町の重要な観光ルートの一つであるので、道路拡幅や待避所の増設など新年度予算で調査すべきではないか。現在、13カ所の待避所量があるが、今後の交通量を勘案した待避所の設置拡幅について、専門技術の調査が必要になるため、予算化して調べていくこととする。

**質問** 町民が喜ぶ予算の執行を

**答弁** 財政状況をみながら有効に

継続してあらゆる角度から支援していくこととする。利子補給事業については、中古で購入した場合の補助も農業再生協議会で協議して決定していくこととする。

## ここを問う

### 室井亜男議員の一般質問

町政

**質問** 米作付農家への支援を

**答弁** あらゆる角度から支援する

**問** 国の米作付所得補償が10アールあたり1万5千円から7千5百円まで下がり、米価の下落や肥料や資材が高騰し、農家は非常に厳しい状況にある。南会津町では独自に所得補償に10アールあたり2千5百円を上乗せするなど対策が行われている。

**答** 町は農業再生協議会に1千万円の補助金を支出しているが、これがどのように農家の支援

**問** 冬期間のコミュニティセンター利用者から暖房の効果がないとの声が多くある。運動により健康増進も図られるため、町民のためにも使用する2時間前から暖房を点けるなど効果的に、町民が喜ぶような暖房管理をすべきではないか。

**答** コミュニティセンターにおける暖房管理で反



コミュニティセンターの活用状況



町政

## ここを問う

### 佐藤 勤議員の 一般質問



町政

## ここを問う

### 星輝夫議員の 一般質問

質問

デスティネーションキャンペーンで期待される効果は

観光客の入込数を震災以前となることを目指す

あるのか。

来春デスティネーションキャンペーンが行われるが、下郷町の取り組みと、下郷町が受ける恩恵はどの程度か。

また、町内にはまだまだ観光資源が埋もれているが、もう一度観光資源を見直して滞在型観光を推し進める考えはあるのか。

ふくしまデスティネーションキャンペーンについては、全国宣伝販売促進

会議での観光PR、旅行会社県内商談会や現地視察を通して積極的にアピールし、風評被害対策事業や消費対策事業において積極的に下郷町の魅力PRを考えている。

みで誘客を進め、町民への周知を積極的にい行いおもてなしの心で対応する。

また、新たな観光地のグリードアップ化、観光拠点の整備については、これまでも積極的に取り組んできたが、さらに観光資源の発掘を進めなければならぬと考えており、地域住民や観光関係者と合意形成を図りながら検討していきたい。

を講じているのか。また、鳥獣類に関してはどのような制限があり、どのような対策をとったのか。

野生きのこや樹実類について町は、広報紙への掲載やチラシの全戸回覧、



質問 消火栓の設置基準は

総務省消防水利の基準

消火栓の設置基準はどのようになっており、

下郷町の消火栓充足度はどの程度で、消火栓未整備地区はあるのか。また、設置に当たり、要望書の提出は必要か

答 消火栓のみの設置基準基準はないが、消防水利においては総務省消防水利において基準が示されて

いる。消火栓は水道管から給水されるものであり、簡易水道施設がある地域については、ほぼ満たされている。

消火栓未整備地区はあるが、防火水槽等によりほぼ充足していると考えており、消火栓に限らず、防火水槽においても行政区からの要望で対応している。

質問

モニタリング検査結果の周知方法は

チラシ配布や掲示、HPなどで

モニタリング検査結果による野生きのこや樹

実類の採取及び出荷制限について、町ではどのような対策

鳥獣類は、下郷町ではツキノワグマが出荷制限されており、イノシシ、ヤマドリ、キジ、カルガモ、野ウサギが県内全域で出荷制限され、速やかに猟友会へ規制内容をお知らせし、出荷自粛をいただいている。

質問

電気柵の補助予算増額を

必要に応じ柔軟に対応する

全国で520カ所設置されている鳥獣被害対策実施隊の設置はされているのか。

また、イノシシ、ニホンシカ、クマの対策には電気柵が有効であるとの情報が多いので、補助予算を増額する考え

はあるか。

鳥獣被害対策実施隊の設置は、有害狩猟鳥獣捕獲隊の隊員維持が限界にある中で極めて厳しく設置されていない。

また、電気柵は有効であるとの実績が報告されているた

質問 会津縦貫南道路の開通予定に伴う国道121号線の経済対策は

早い時期から対策を講じる必要があると考える

会津縦貫南道路の開通はいつ頃の予定で、今

後開通によりR121号線の通行量は減少するものと思われ、この沿線の観光地や商店街に対する経済対策を早い時点から講じる必要があると思われるが考えを伺う。

完了予定時期は平成30年代の前半と聞いて

いるが、明確な時期は公表されていない。

沿線の経済対策については、大幅な交通量の減少が予想され、中小企業や商店の経済活動後退も予想されるため、早い時期から対策を講じる必要があると考えている。



水田に設置された電気柵

質問

パークゴルフ場は18ホール化するのか

利用状況、経済性を考慮し検討する

本年度で整備されたパークゴルフ場は9

ホールで仮オープンし、その利用状況で残り9ホールを整備するとの話であるが、公認大会開催や交流人口拡大のためにも18ホールとして整備すべきであると思われるがいかがか。

また、下郷町にパークゴルフ場ありきの情報を発信すべきであり、同時に下郷パークゴルフ協会を設立して飛躍の足掛かりを作るべきと思われるが、見解を伺う。

残り9ホールの整備計画は、完成した9ホールの河川側に整備される計画となっており、立木を伐採することから現状景観が破壊される懸念がある。また、整備

済の9ホールで約1億1千万円かかっており、残り9ホールの整備には、これ以上の財

源が必要になる。

そのため、今後の町民利用状況及び経済性に配慮した整備を進めるために9ホールでの仮オープンを一つの選択肢として検討しており、パークゴルフによる交流人口の拡大を整備目的から削除するものではなく、また残り9ホールの整備を中止するものではない。また、本施設を活用する町民の健康増進を第一に考えるとともに、維持管理経費などを考慮しながら計画の見直しを進めている。

下郷町パークゴルフ協会設立については、整備後の情報発信や利用促進体制と有効な利活用が図られるよう今後も検討していきたい。

総務  
文教

# 町内小学校の改修工事業や定住促進住宅造成工事など、所管の事務を調査

総務文教常任委員会では、10月30日、旭田小学校プールサイド改修や檜原小学校防火シャッター改修の状況や、定住促進住宅造成状況に関する事項など、所管する事務の調査を行いました。



プールサイド改修の説明を受ける

**◇張平集会所コミュニティ助成事業**  
平成25年度に建設した集会所建設事業についての説明を受けました。  
高齢者や子供たちが使いやすいバリアフリーが特徴であるとのことです。

**◇旭田小学校体育館屋根塗装工事及びプールサイド改修工事**  
体育館の屋根塗装については、耐久性に優れた塗装材を使用し、プールサイド改修については、下地に衝撃用マットを使用し、児童の安全面を考慮し施工したとの説明を受けました。

**◇大川ふるさと公園遊具撤去設置工事**  
大川ふるさと公園遊具の老朽化に伴い、年次計画で整備する計画の説明を受けました。

**◇定住促進住宅造成工事**  
定住促進住宅造成工事及び今後の建設計画について説明を受けました。

**◇檜原小学校防火シャッター改修工事、扇風機設置工事**  
各階に設置してある防火シャッターの改修、廊下床の改修、扇風機設置内容について説明を受けました。  
防火シャッターには、避難時停止装置を設置し、避難時にシャッターに挟まれないよう安全対策を取ったとのこと。

**◇大川ふるさと公園ゲートポール場改修工事**  
ゲートポール場(4面)の表面舗装改修工事について説明を受けました。



定住促進住宅造成工事の説明を受ける

**◇共同調理場増築工事・備品購入**  
児童生徒の食物アレルギー対策として別食を調理するた

造成工事は他工事現場の残土を使用して平坦にする工事内容である説明がありました。  
今後、補助金を活用し財源手当てができるよう補助事業を探していくとのこと。  
また、県道との高低差に課題があり、取り付け道路についても協議をしていく必要があるとの説明でありました。

意見・提言等

○重機車庫及び備蓄資材倉庫の進入路が狭く、急カーブであるので支障を来すと思われるので、進入路の整備が必要ではないか検討すべきである。

- ◇(株)コトブキ福島工場
- ◇大川ふるさと公園パークゴルフ整備状況
- ◇下郷町観光情報配信システム整備事業
- ◇大内宿保存修理事業
- ◇大沢川小水力発電事業

その他の調査箇所

◇下郷町重機車庫新築工事  
◇備蓄資材倉庫改修工事  
◇旧落合分校「会津ジイゴ坂学舎」  
めの増築工事、食物アレルギーを持って居る児童生徒の食の安全を確保するための改築工事と備品の整備状況について説明を受けました。

町政

## ここを問う

### 猪股謙喜議員の一般質問



質問

景観条例が必要ではないか

答弁

設置に向けて検討していく

**問** 甲子トンネル開通後町内国道に屋外広告物、野立て看板が目につくが、屋外広告物に関する規制はどのようになっているのか。また、景観保護のための条例化の考えはあるか。

**答** 屋外広告物に関する規制は、県条例の権限移譲事務として平成12年度より事務処理をし、基準を満た

したものについて設置許可をしている。景観保護のための条例は必要と考え、設置に向けて検討していく。

質問

再生エネルギービジョンの策定状況

答弁

平成27年度に策定するよう検討

**問** 以前の質問で、再生エネルギービジョンを策定するとの答弁があったが、策定状況はどうなっているのか。

また、南会津地域再生可能エネルギー推進協議会とはど

**答** ういう会議で、現在までの動きはどうなっているのか。

**答** 再生エネルギービジョンの作成は、平成27年度に策定するよう検討している。  
南会津地域再生可能エネ



R289号沿いの野立て看板

ギー推進協議会とは、南会津地方振興局が事務局となり、南会津地方に有する再生可能エネルギーを普及し、地産地消のエネルギー実現と雇用の促進や産業の振興、災害に強い地域づくりを進めることを

質問

防災計画に東日本大震災の教訓をどのように反映させるのか

答弁

初動体制や地域の組織力強化を図るなど様々な面で反映させる

**問** 東日本大震災では、太平洋沿岸地域の自治体は、それまでの防災計画では対応できなかった。下郷町防災計画で、東日本大震災で経験した教訓をどう反映させるのか。

答

大規模災害での教訓の多くは行政の初動体制にある。配備の体制、配備基準の明確化を図り、速やかでの確な初動体制をとる、円滑な災害応急対策へつなげるようにする。また、支援助物資の輸送手段や自主防災組織を通じた、地域の組織力強化を図った防災力向上を

問

反映した計画を作成していく。防災計画をつくるに当たっては心理学も必要になるのではないか。人は危機に際し身がすくんでしまい、逃げ遅れる事例もあり、これらを回避するような訓練や講習なども防災計画に必要ではないか。

答

下郷町防災会議において、説明協議を行い、さらに会議等で協議を重ね、上位計画との整合性をとって検証、修正、検討して新たな防災計画を策定していくこととする。

目的に、会員への助言、全国的な動向や支援措置、最新情報の提供などを行う組織である。現在まで、エネルギー部

門ごとの事業化促進に向けた調査研究や有識者によるセミナーなどを開催している。

## 地域振興プレミアム商品券発行事業や保 育所運営状況など、所管の事務を調査

産業  
厚生

産業厚生常任委員会では、11月6日、下郷町商工会で実施した地域振興プレミアム商品券発行事業状況や、災害復旧工事の現場、湯野上保育所運営状況など、所管の事務について調査しました。

◇防雪ステーション建設事業  
平成25年度事業として完成した防雪ステーションの説明を受けました。

◇パークゴルフ場管理棟建築  
建設中のパークゴルフ場管理棟工事及び今後の運営予定などの説明を受けました。18

◇特別養護老人ホーム建設事業  
社会福祉法人明智福祉会が元役場庁舎・元公民館跡地に建設している特別養護老人ホームの進捗状況等について説明がありました。



パークゴルフ場管理棟工事の説明を受ける

ホームの進捗状況等について説明がありました。現在、職員募集は行ったが、介護職員が不足しているとのことであります。

◇会津下郷駅トイレ改修工事  
会津鉄道が町から補助を受けて改修した内容について説明を受けました。

◇広域消防署下郷出張所運営状況  
広域消防署下郷出張所の業務概要について説明を受けました。

◇町道大松川音金線災害復旧工事  
8月10日発生の豪雨被害復旧工事について現況復旧の説明を受けました。

また、国の災害査定で採択となったため、繰越事業により復旧予定であるとの説明がありました。

◇湯野上保育所運営状況  
51名の園児保育にあたり、



湯野上保育所運営状況の説明を受ける

その他一次保育も通年実施している現状などの説明がありました。また、20年以上経過したため、老朽化による水道漏水調査や垂木取替修繕の実施状況なども現地確認の上説明を受けました。

◇地域振興プレミアム商品券発行事業  
町と商工会が連携し実施している地域振興プレミアム商品券発行事業の進捗状況や換金状況、またその効果等について説明を受けました。

その他の調査箇所  
◇災害対策備品等整備  
◇下郷ふるさと祭り運営  
◇緊急雇用創出基金事業  
◇塔のへつり落石補修工事  
◇下郷町デイサービスセンター  
◇町道湯野上小野線  
◇観光情報配信システム整備事業  
◇定住促進住宅造成工事

### 意見・提言

○下郷町の特産となる商品開発が必要であり、そのためにも起業家の育成をしていくべきである。



地域振興プレミアム商品券発行事業の説明を受ける

議会  
広報

## 広報紙の編集体制や編集方法、住民との 関わり方などを視察

議会広報常任委員会では、11月17日から18日にかけて、議会広報紙の編集体制や編集方法、住民の関わり方などを研修し、今後の編集等に活かすため、優良町村である山形県三川町や新潟県聖籠町を視察しました。

### 山形県三川町

#### 広報紙の編集体制

町議会議員数10名のうち、6名が常任委員会委員となり、編集から校正までの全てを委員（議員）が行っているとのことであった。

○議会開会の5日前に委員会を開催し、全体構成を決定後、編集担当を割り振り、それぞれの委員が編集を行う。

○一般質問については、質問者が録音音声により800字以内でまとめることとし、それを編集する（写真も質問者が準備する）  
○表紙の写真は子供と決めて



三川町での視察の様子

おり、各委員がそれぞれ持ち寄って決めていく。

○広報紙1回の発行に際し4回の委員会を開催している。  
○住民とのつながりを持つために、各委員が取材し、「がんばってますシリーズ」として住民や住民団体などの紹介記事を毎回掲載している。

○定例会の翌月15日に配布になるよう編集作業を行っている。

#### 常任委員会とした経緯

市町村合併をしない選択をした際に、議会活性化特別委員会を設置し、広報・広聴に力を入れようと常任委員会とした。議会広報やホームページだけでなく、広報・広聴活動全般を行う委員会となっている。

#### 広報活動

- 議会報告会
- 町内会長連絡協議会との懇談会
- 商工会役員との懇談会
- 農政懇談会
- 小学生・中学生との懇談会

#### 議会基本条例

平成23年3月に制定

### 新潟県聖籠町

#### 広報紙の編集体制

町議会議員数14名のうち、6名が委員となり、編集から校正までを委員（議員）が行っており、常任委員会とせず特別委員会に対応しているとのことであった。

○一般質問は、質問者本人が原稿を作成

○1回の発行につき、最低4回の委員会を開催している。  
○議会閉会后、概ね30日以内に発行している

○写真は委員3名が担当し準備している。

#### 編集にあたって

- 1号あたり、平均22.5ページで年4回発行
- 文章は短く、議会での雰囲気や言葉で表現
- 見出しは読みやすさに配慮し、なるべく多く設ける
- 写真は大きく、人の写っているものを優先
- 余白はうまく利用する（一



聖籠町での視察の様子

定の余白は設ける）  
公平・中立を厳守

○紙面スタイルは個性ある編集とする

○早期発行  
下郷町議会だより第68号に対する助言

○住民の声がなく一方通行過ぎる

○事務的なものになっている  
○文字が多すぎるので、写真や余白をもっと入れる

○キャプションが長すぎるので短く  
○タイトルは13文字以内が望ましい

○読んでみたいと思わせる紙面づくり

# 議会だよりギャラリー

議会とまちのうごきを  
写真でレポート

下郷町議会だより

発行：福島県南会津郡下郷町議会  
編集：議会広報常任委員会



2月20日

なかやま雪月火2015

『手作り作業』

2月21日(土)に開催された「なかやま雪月火」は、晴天にも恵まれ、これまでにない1,200人も観客が訪れました。

その準備には、中山区民だけでなく、近隣地区住民や県・町職員など多くの方の協力を得ての作業となりました。

2月28日

湯野上温泉 火祭り

『ファイアーパフォーマンス』

2月28日(土)に開催された湯野上温泉「火祭り」は盛大に開催され、“火”をテーマにした様々な催しが行われました。

中でもGOROPIKAによるファイアーパフォーマンスが多くの観客を魅了しました。



〒969-5345 下郷町大字塩生字大石1000番地  
E-mail: gikai\_01@town.shimogo.fukushima.jp

TEL: 0241-69-1123  
FAX: 0241-69-1167

議会を傍聴しませんか

町議会定例会は3月・6月・9月・12月に開かれます。  
お問い合わせは町議会事務局(69-1123)まで

議会広報常任委員会

委員長	猪股謙喜
副委員長	佐藤勤
委員	山田武夫
委員	星輝夫

▼議会議員になり、かつて見えなかった部分が見えたことに気が付いた。

それは限界集落が増え、空き家の増加、農地の荒廃、鳥獣被害の多発、そして原発による被害がある。

また、全国的に直面している超高齢化に於いても本町では平均以上をいくのだ。

これら諸問題を是正していくには、官民一体での討論及び意識改革が必要と思うのだが。。。

一年生議員の汗が町民の笑顔に変われば。

(星輝夫)

編集後記